



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ
コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	876	3.3	39	△7.9	39	△17.3	48	278.6
27年6月期第2四半期	848	△11.9	42	△46.4	47	△42.7	12	△78.3

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 48百万円 (277.4%) 27年6月期第2四半期 12百万円 (△78.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	4.31	—
27年6月期第2四半期	1.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第2四半期	1,753	792	45.2	69.95
27年6月期	1,466	783	53.4	69.15

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 792百万円 27年6月期 783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	3.50	3.50
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	4.9	80	1.3	80	△5.5	80	111.7	7.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社エム・エイチ・マーケティング、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	11,332,100 株	27年6月期	11,332,100 株
28年6月期2Q	48 株	27年6月期	48 株
28年6月期2Q	11,332,052 株	27年6月期2Q	11,145,952 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、穏やかな回復基調にはあるものの、原油安、中国経済減速の影響などにより、外部環境は厳しさを増しております。また、企業収益が実質賃金の上昇には直接繋がっていないため、消費の回復は鈍く、先行きは依然不透明なものとなっております。

当社グループが属する美容業界におきましても、円安の影響による輸入物価の上昇と先行きの不透明さからくる生活防衛意識が、顧客の節約志向を強め、来店サイクルを鈍化させて、売上高の伸びを抑えているものと思われまします。また、国内においては、業界全体のパイが縮小するなかで、美容室間の競争はますます激しくなっており、美容師の人材不足とあいまって、今後も引き続き厳しい経営環境に置かれることが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、安易な安売り競争に走ることなく、従来通り優秀なスタッフを育成し、質の高いサービスを提供し続けることにより、顧客の支持を得て安定した業績を維持しておりますが、本格的な回復には至っておりません。

当第2四半期連結累計期間におきましては、BS店から直営店に転換した店舗が2店舗、新規出店した店舗が1店舗ありましたので、前年に比較し、売上高は僅かながら増加いたしました。一方で、新規サロンの出店費用と中国・北京において平成28年3月に予定している中国第1号店の出店準備費用などが増加したため、営業利益は減少いたしました。

また、特別利益として短期売買利益受贈益が151,422千円、特別損失として当社の創業者でもあり、前取締役会長であった青山洋一氏に対する役員退職慰労引当金繰上額130,000千円の計上があった影響で、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高876,247千円（前年同期比3.3%増）、営業利益39,120千円（前年同期比7.9%減）、経常利益39,032千円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、48,786千円（前年同期比278.6%増）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン16店舗（モッズ・ヘアサロン15店舗、その他1店舗）を展開しております。

平成27年10月に、モッズ・ヘア吉祥寺店及びモッズ・ヘア自由が丘店がBSサロンより直営サロンに転換いたしました。また、平成27年11月に、新たに香川県高松市にモッズ・ヘア高松瓦町店をオープンいたしました。

直営サロン運営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、同3店舗の増加により、545,929千円（前年同期比11.6%増）となりましたが、セグメント利益は、同3店舗が新規出店、若しくは転換間もないため収益化されおらず、0千円の損失（前年同期は5,304千円のセグメント利益）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第2四半期連結累計期間において、国内におきましては、直営サロンへの転換が2店舗（モッズ・ヘア吉祥寺店、モッズ・ヘア自由が丘店）、閉店が2店舗（モッズ・ヘア松江店、モッズ・ヘア藤沢店）となりました。海外におきましては、台湾において1店舗を閉店し、韓国において1店舗を開店、5店舗を閉店いたしました。その結果、当第2四半期会計期間末日現在において、国内66店舗、韓国19店舗、台湾4店舗の計89店舗となっております。

B Sサロン運営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、282,145千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は、111,926千円（前年同期比13.6%減）となりました。

（ヘアメイク事業）

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

スタジオ部門におきましては、主要アーティストの独立により大口売上が減少し売上高は減少しましたが、手数料率の高い若手アーティストの売上比率が伸びたため利益率が向上し、また、ブライダルにおきましては、モッズ・ヘア オン アンダーズ東京の営業が、当第2四半期連結累計期間において好調に推移し、サロン単独でも黒字化したため、ヘアメイク事業のセグメント利益は大幅に増加しました。

ヘアメイク事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、98,562千円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は、11,349千円（前年同期比114.3%増）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、国内82店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

また、美容室に特化したPOS・経営分析システムの共同開発及び販売事業も行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は引き続き順調に伸びており、美容室支援事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、35,940千円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は、14,516千円（前年同期比4.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ286,827千円増加し、1,753,204千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の増加130,064千円、未収入金の増加136,446千円などによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ277,780千円増加し、960,499千円となりました。主な要因としましては、未払金の増加143,113千円、役員退職慰労引当金の増加130,000千円などによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9,046千円増加し、792,704千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益48,786千円、配当金の支払39,662千円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期の業績予想は、平成27年8月12日付「平成27年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、主に首都圏以外の主要都市において直営サロンを運営することを目的に、株式会社エム・エイチ・マーケティングを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いた
しました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定に
よる取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法
に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を
行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,441	478,505
売掛金	111,364	117,207
商品	56,505	56,386
未収入金	311,787	448,234
繰延税金資産	30,406	30,406
その他	74,041	104,403
貸倒引当金	△11,821	△22,568
流動資産合計	920,725	1,212,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	340,923	367,562
減価償却累計額	△208,066	△221,581
建物及び構築物(純額)	132,857	145,980
工具、器具及び備品	59,310	73,253
減価償却累計額	△31,610	△34,713
工具、器具及び備品(純額)	27,700	38,540
その他	540	5,838
減価償却累計額	△313	△347
その他(純額)	226	5,491
有形固定資産合計	160,783	190,012
無形固定資産		
のれん	16,512	14,774
その他	4,158	4,440
無形固定資産合計	20,671	19,214
投資その他の資産		
投資有価証券	5,356	5,279
関係会社株式	21,670	21,670
差入保証金	178,124	183,717
リース投資資産	123,238	88,525
その他	36,306	32,708
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	364,195	331,401
固定資産合計	545,650	540,628
資産合計	1,466,376	1,753,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,015	24,679
未払金	393,076	536,190
未払費用	33,866	33,048
未払法人税等	5,997	11,296
未払消費税等	26,024	18,201
役員退職慰労引当金	-	130,000
その他	28,261	31,441
流動負債合計	503,241	784,856
固定負債		
長期末払金	37,829	37,003
受入保証金	121,240	118,240
資産除去債務	11,543	11,585
ポイント引当金	8,840	8,813
その他	23	-
固定負債合計	179,477	175,642
負債合計	682,718	960,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	129,496	129,496
利益剰余金	153,884	163,008
自己株式	△13	△13
株主資本合計	783,367	792,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	213
その他の包括利益累計額合計	290	213
純資産合計	783,657	792,704
負債純資産合計	1,466,376	1,753,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	848,275	876,247
売上原価	590,091	630,794
売上総利益	258,183	245,452
販売費及び一般管理費	215,690	206,332
営業利益	42,493	39,120
営業外収益		
受取利息	22	177
為替差益	2,386	-
貸倒引当金戻入額	1,570	-
その他	743	465
営業外収益合計	4,723	643
営業外費用		
為替差損	-	731
営業外費用合計	-	731
経常利益	47,216	39,032
特別利益		
短期売買利益受贈益	-	151,422
特別利益合計	-	151,422
特別損失		
役員退職慰労引当金繰入額	-	130,000
店舗閉鎖損失	2,378	-
特別損失合計	2,378	130,000
税金等調整前四半期純利益	44,838	60,454
法人税、住民税及び事業税	6,498	11,667
法人税等調整額	25,453	-
法人税等合計	31,952	11,667
四半期純利益	12,886	48,786
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,886	48,786

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	12,886	48,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△77
その他の包括利益合計	21	△77
四半期包括利益	12,908	48,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,908	48,708
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	44,838	60,454
減価償却費	17,418	18,883
のれん償却額	487	1,738
店舗閉鎖損失	2,378	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,954	10,746
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	△26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	130,000
受取利息及び受取配当金	△22	△194
売上債権の増減額(△は増加)	△15,040	△9,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△776	118
仕入債務の増減額(△は減少)	14,669	8,663
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,724	△7,823
リース投資資産の増減額(△は増加)	6,927	20,695
その他	△43,289	△21,680
小計	45,268	211,810
利息及び配当金の受取額	22	194
法人税等の支払額	△10,871	△6,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,419	205,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,543	△30,893
差入保証金の差入による支出	△6,400	△11,349
差入保証金の回収による収入	14,600	-
貸付けによる支出	△10,700	-
貸付金の回収による収入	-	6,408
その他	△681	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,725	△35,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△33,231	△39,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,231	△39,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	608	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,928	130,064
現金及び現金同等物の期首残高	357,249	348,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	337,321	478,505

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	489,348	290,545	107,357	34,629	921,881	△73,605	848,275
セグメント利益	5,304	129,526	5,296	13,939	154,067	△111,573	42,493

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,573千円には、棚卸資産の調整額△104千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,468千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	545,929	282,145	98,562	35,940	962,577	△86,330	876,247
セグメント利益 又は損失(△)	△0	111,926	11,349	14,516	137,791	△98,671	39,120

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,671千円には、棚卸資産の調整額98千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,770千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。